

平成 26 年度社会福祉法人美德会事業報告書

社会福祉法人美德会

平成 26 年度社会福祉法人美徳会事業報告書

総括

多治見市内のサービス事業所増加のため、利用者確保に力を注いだ。各事業所ともに営業活動を行ったが、ショートステイ事業とデイサービス事業については実績の低下が顕著であった。特別養護老人ホームは金額的優位があり申込者も多かったが、ケアハウスは部屋を空けることこそなかったものの、待機者がほぼいない状態で推移した。特別養護老人ホームは選択的に重度者を受け入れているため、前年度を比較しても差がなかったが、他のサービスについては、平均介護度が下がる傾向にあった。

新規学卒採用は 9 人と、採用難が叫ばれる中非常に多くの職員を採用することができた。余裕ある人員でスタートできたが、結婚出産による退職が相次ぎ、余剰人員がなくなった。特別養護老人ホームに偏重しているが、若い職員が多いため、一定数採用しても結婚等による職員の退職を気にした 1 年であった。また、男性の介護職員が増え、ケアハウス正規職員で 3 割、特別養護老人ホームの正規職員については半数が男性となった。デイサービスセンターの職員確保が厳しく、介護職員、看護職員ともに派遣、紹介事業者に頼ることとなった。一時増員できるが、派遣・紹介は長続きしない傾向があった。

特別養護老人ホーム東館が開設から 15 年経過しているため、厨房初度設備をはじめとして修繕が多かった。交換修繕が予測しづらく、補正予算での対応を余儀なくされた。

平成 26 年度は地域貢献を意識した年で、庄内川アダプトへの参加による河川敷の管理を本格化させた。河川敷の景観が様変わりし、活用の可能性が広がったが、維持管理の方法を探る 1 年でもあった。

以下に平成 26 年度の実績を掲載する。

平成 26 年度理事会開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
平成 26 年 5 月 27 日	7 名	第 1 号議案 平成 25 年度事業報告案について 第 2 号議案 平成 25 年度決算案について 第 3 号議案 平成 26 年度第 1 次補正予算案について 第 4 号議案 介護老人福祉施設運営規定変更案について 第 5 号議案 短期入所生活介護事業運営規定変更案について 第 6 号議案 通所介護事業所運営規定変更案について 第 7 号議案 訪問介護事業所運営規定変更案について 第 8 号議案 特定施設入居者生活介護事業所運営規定変更案について
平成 26 年 6 月 13 日	7 名	第 1 号議案 福祉医療機構借入金の一括返済について 第 2 号議案 基本財産の担保提供について 第 3 号議案 平成 26 年度第 2 次補正予算案について
平成 26 年 6 月 24 日	7 名	第 1 号議案 平成 26 年度第 3 次補正予算案について
平成 26 年 8 月 25 日	7 名	第 1 号議案 育児・介護休業等に関する規則変更案につ

		いて 第 2 号議案 理事長の互選について 第 3 号議案 理事長職務代理者の指名について
平成 27 年 1 月 27 日	7 名	第 1 号議案 就業規則変更案について 第 2 号議案 給与・退職金規定変更案について 第 3 号議案 経理規程変更案について 第 4 号議案 平成 26 年度第 4 次補正予算案について 第 5 号議案 業務委託契約の継続について 第 6 号議案 駐車場賃貸契約の継続について
平成 27 年 3 月 25 日	7 名	第 1 号議案 平成 26 年度第 5 次補正予算案について 第 2 号議案 平成 27 年度事業計画案について 第 3 号議案 平成 27 年度予算案について 第 4 号議案 給与・退職金規定変更案について

平成 26 年度評議員会開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
平成 26 年 5 月 27 日	13 名	第 1 号議案 平成 25 年度事業報告案について 第 2 号議案 平成 25 年度決算案について 第 3 号議案 平成 26 年度第 1 次補正予算案について 第 4 号議案 理事の選任について 第 5 号議案 監事の選任について
平成 26 年 6 月 13 日	14 名	第 1 号議案 福祉医療機構借入金の一括返済について 第 2 号議案 基本財産の担保提供について 第 3 号議案 平成 26 年度第 2 次補正予算案について
平成 26 年 6 月 24 日	8 名	第 1 号議案 平成 26 年度第 3 次補正予算案について
平成 27 年 1 月 27 日	14 名	第 1 号議案 平成 26 年度第 4 次補正予算案について
平成 27 年 3 月 25 日	7 名	第 1 号議案 平成 26 年度第 5 次補正予算案について 第 2 号議案 平成 27 年度事業計画案について 第 3 号議案 平成 27 年度予算案について

運営組織

会議名	会議内容	開催状況
主管会議	運営に関する検討	毎月第 2 水曜日
職員会議	業務・処遇内容に関する検討	毎月 1 日
行事委員会	行事の企画・検討	月 1 回
給食委員会	献立・栄養管理・給食業務の検討	隔月 1 回
入所検討委員会	入所に関する検討	随時
防災委員会	消防・防災に関する検討	年 2 回

平成 26 年度の主な事業内容

実施日	実施内容
平成 26 年 5 月 27 日	第 1 回理事会、第 1 回評議員会
平成 26 年 6 月 1 日	水神祈禱
平成 26 年 6 月 13 日	第 2 回理事会、第 2 回評議員会
平成 26 年 6 月 24 日	第 3 回理事会、第 3 回評議員会
平成 26 年 7 月 3 日	中部学院大学仕事説明会
平成 26 年 7 月 27 日	ケアハウス夏祭り
平成 26 年 8 月 24 日	特別養護老人ホーム夏祭り
平成 26 年 8 月 25 日	第 4 回理事会
平成 26 年 9 月 10 日	職員健康診断
平成 26 年 9 月 25 日	採用試験
平成 26 年 9 月 29 日	ケアハウス防災訓練
平成 26 年 10 月 1 日	特別養護老人ホーム防災訓練
平成 26 年 11 月 9 日	家族会清掃
平成 26 年 12 月 14 日	介護保険新ソフト導入
平成 27 年 1 月 27 日	第 5 回理事会、第 4 回評議員会
平成 27 年 2 月 12 日	職員採用試験
平成 27 年 3 月 18 日	職員健康診断
平成 27 年 3 月 25 日	第 6 回理事会、第 5 回評議員会

職員の状況

1. 特別養護老人ホーム

区分	施設長	施設長補佐	事務員	生活相談員	介護支援専門員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	管理栄養士	用務員
平成 26 年 4 月 1 日	1	1	4 (1)	2	1	58 (12) 内新卒 8	7 (3)	1	1	5 (5)
採用						3 (1) 1	(2) 2			
退職						7 (2) 2	1			
平成 27 年 3 月 31 日	1	1	4 (1)	2	1	53 (11)	8 (5)	1	1	5 (5)

上段 () パート再掲

2. 在宅サービスセンター

区分	センター長	事務員	デイサービス			居宅	ヘルパー	
			生活相談員	介護職員	看護職員兼機能訓練指導員	介護支援専門員	サービス提供者責任者	訪問介護員
平成26年4月1日	1	1 (1)	1	8 (6)	2 (2)	3	1	7 (7)
採用				2 (1)	1 (1)			
退職				1	1 (1)			2 (2)
平成27年3月31日	1	1 (1)	1	9 (7)	3 (3)	3	1	5 (5)

3. ケアハウス

区分	施設長	事務員	生活相談員	計画作成担当者	介護職員	看護職員	看護職員兼機能訓練指導員
平成26年4月1日	1	1 (1)	1	1	19 (5) 内新卒1	1	1
採用					1	1	
退職					2	1	
平成27年3月31日	1	2 (2)	1	1	18 (5)	1	1

事業所別実績

1. 特別養護老人ホーム

①月別実利用者数

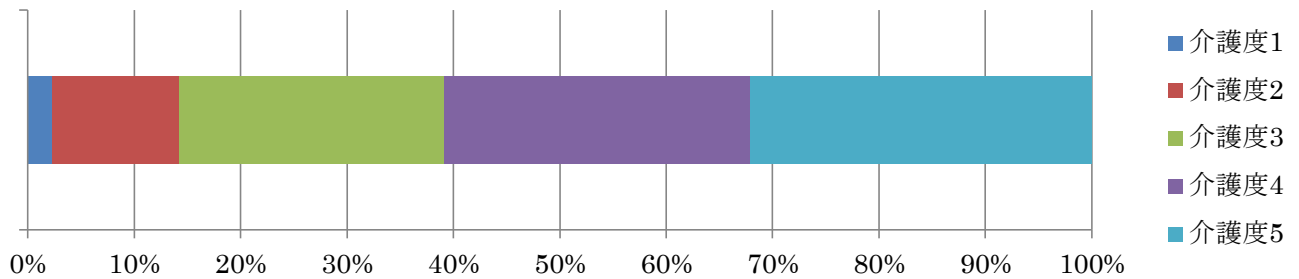
(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	2	2	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	29
要介護2	13	13	12	15	15	14	13	13	13	12	11	11	155
要介護3	33	33	31	28	26	26	25	24	26	27	27	24	330
要介護4	33	31	30	29	32	28	29	32	33	37	38	36	388
要介護5	32	34	34	35	36	39	42	40	40	36	34	36	438
計	113	113	110	110	112	110	112	111	114	114	112	109	1,340
平均介護度	3.71	3.73	3.73	3.71	3.74	3.78	3.84	3.86	3.84	3.82	3.81	3.85	3.78

②月別延べ利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	60	62	90	93	93	90	93	60	62	62	56	62	883
要介護2	390	380	360	464	465	420	403	388	353	363	308	340	4,634
要介護3	945	948	893	846	800	752	773	683	754	807	695	744	9,640
要介護4	912	904	845	839	949	793	845	886	992	1,039	1,045	1,078	11,127
要介護5	831	897	989	1,022	1,039	1,106	1,198	1,145	1,163	1,080	901	1,071	12,442
計	3,138	3,191	3,177	3,264	3,346	3,161	3,312	3,162	3,324	3,351	3,005	3,295	38,726



平成25年度延べ利用者数 39,083人 (年度比-357人)

③年齢分布

性別	~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	計	平均	最高	最低
男性		2	4	1	4	6	1	2		20	82	98	66
女性		1	1	5	18	30	25	7	3	90	88	104	66
合計	0	3	5	6	22	36	26	9	3	110			

④入退所の状況

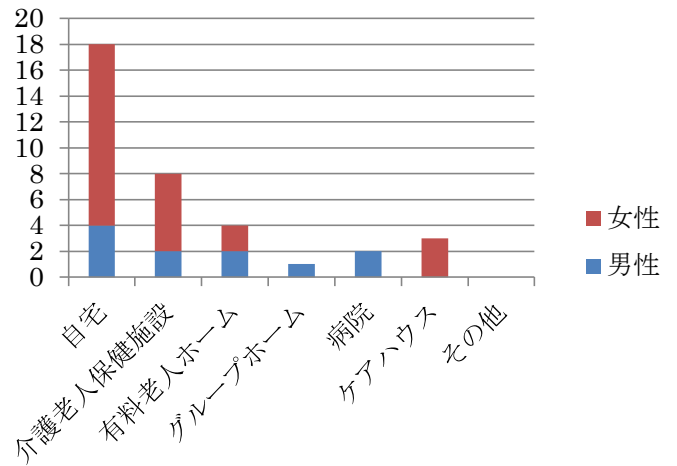
(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所者	男	2	3			2		1		1		2		11
	女	4	2		1	1	2	2	3	4	4	1	1	25
	計	6	5	0	1	3	2	3	3	5	4	3	1	36
退所者	男	0	1		1	0	1	1		2	2		1	9
	女	6	3		1	3	1	1	4	2	2	3		26
	計	6	4	0	2	3	2	2	4	4	4	3	1	35

※平成26年3月31日時点で、退所者が1名多かった為入退所に差があります。

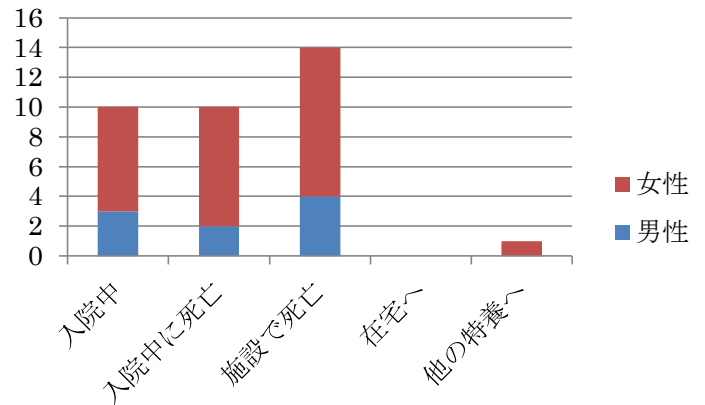
⑤入所経路 (単位：人)

入所前	男	女	計
自宅	4	14	18
介護老人保健施設	2	6	8
有料老人ホーム	2	2	4
グループホーム	1		1
病院	2		2
ケアハウス		3	3
その他			
計	11	25	36



⑥退所者 (単位：人)

退所理由	男	女	計
入院中	3	7	10
入院中に死亡	2	8	9
施設で死亡	4	10	15
在宅へ			
他の特養へ		1	1
計	9	26	35



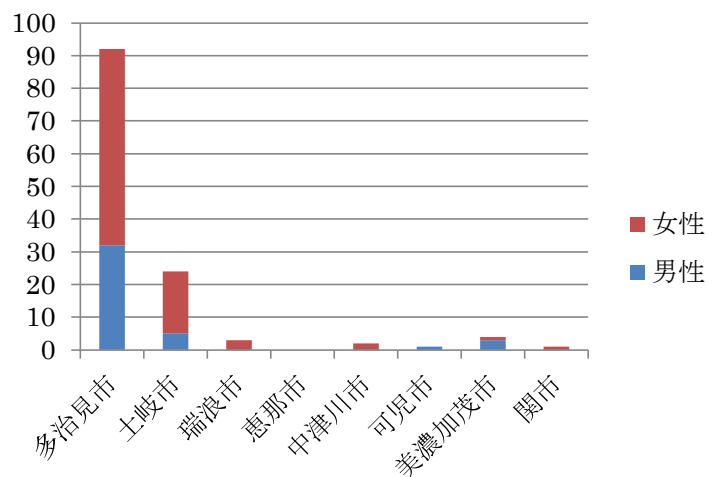
⑦在所期間 (単位：人)

6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年	3年～4年	5年～6年	7年～8年	9年～10年	11年～12年	13年～14年	15年以上	合計
14	8	44	36	1	3	3	0	0	1	110

平均在所期間 2年7か月

⑧申込者 (平成26年度中) (単位：人)

保険者	男	女	計
多治見市	32	60	92
土岐市	5	19	24
瑞浪市	0	3	3
恵那市	0	0	0
中津川市	0	2	2
可児市	1	0	1
美濃加茂市	3	1	4
関市	0	1	1
計	41	86	127



⑨医療機関への通院数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急外来	5	2	7	5	4	4	5	6	4	7	2	5	56
内科	9	8	3	11	3	5	4	10	7	3	2	10	75
外科	3	5	3	4	1	2	2	3		2			25
整形外科	10	8	7	6	3	7	8	5	3	2	7	4	70
皮膚科	1		1			1			1				4
眼科			1						1		2	4	8
泌尿器科		1	1		3	1	1					1	8
脳外科	3											1	4
婦人科					1					1			2
耳鼻科							1						1
歯科	3	2	6	1	2	5	2	2	1				24
合計	34	26	29	27	17	25	23	26	17	15	13	25	277

⑩入院者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	7	6	5	5	1	1	3	8	3	6	5	6	56
外科					1	2							3
歯科				1									1
眼科												1	1
脳外科										1			1
合計	7	6	5	6	2	3	3	8	3	7	5	7	62

平成 25 年度延べ入院者数 43 人 (年度比+19 人)

⑪死亡者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病院死亡		1		2				2	2	2	1		10
施設死亡	3				3	2	2	1	1	1		1	14
合計	3	1	0	2	3	2	2	3	3	3	1	1	24

平成 25 年度延べ死亡者数 23 人 (年度比+1 人)

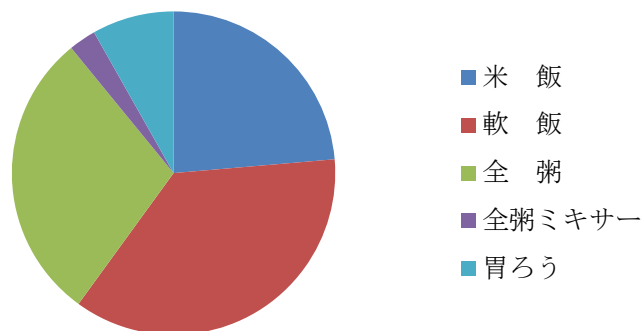
⑫年間食糧構成表

	熱量 Kcal	蛋白質 g	脂質 g	糖質 g	カルシウム mg	鉄 mg	レチノール当量 μg	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg
4月	1,517	60.5	37.7	227.5	428	9.0	1,604	0.86	0.85	123
5月	1,531	62.1	38.1	228.3	472	9.0	1,275	0.86	0.84	136
6月	1,559	61.7	40.2	232.0	456	9.7	1,354	0.90	0.88	149
7月	1,553	62.7	39.0	233.2	443	9.3	1,442	0.88	0.93	134
8月	1,574	62.3	43.0	229.0	438	9.0	1,357	0.91	0.90	147
9月	1,613	64.2	44.4	230.9	459	9.2	1,496	0.93	0.99	147
10月	1,615	63.8	42.8	237.8	465	8.9	1,457	0.90	0.94	145
11月	1,579	63.5	42.5	229.8	460	9.4	1,505	0.86	0.95	140
12月	1,542	60.7	40.7	228.0	425	8.4	1,298	0.74	0.89	120
1月	1,612	64.6	42.4	238.7	491	9.1	1,439	0.85	0.88	128
2月	1,583	64.1	41.4	234.4	486	9.2	1,400	0.83	0.89	130
3月	1,520	62.7	35.1	234.3	426	7.2	1,325	0.68	0.66	140
平均	1,567	62.7	40.6	232.0	454	9.0	1,413	0.85	0.88	137

※表は米飯中盛り、普通食の方の栄養価です。全粥・なめらか食はこの値以下となります。
カルシウムが基準を下回っています。

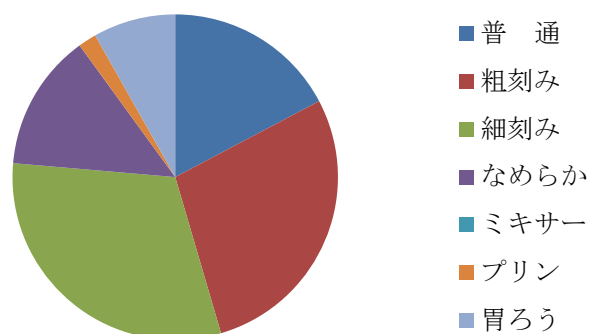
⑬主食の状況

食種	人数	%
米飯	26	23.6
軟飯	40	36.4
全粥	32	29.1
全粥ミキサー	3	2.7
胃ろう	9	8.2



⑭副食の状況

食種	人数	%
普通	19	17.3
粗刻み	31	28.2
細刻み	34	30.9
なめらか	15	13.6
ミキサー	0	0
プリン	2	1.8
胃ろう	9	8.2



生活相談員所感

延べ人数、実利用者数等、平成25年度と同様の実績を残すことができた。退所理由の内訳を確認すると、入院中の死亡が昨年度より大きく増えた。病院で亡くなり、当事業所へ連絡がない事例もあった。医療機関や家族と連絡を密にしなければならない。

平成 26 年度は、初めて他の特別養護老人ホームへ移動される事例が出た。同様の事例が出た場合に備えて、入居者の移動が円滑に行われるように、岐阜県老人福祉施設協議会東濃支部の生活相談員研修等を利用し、生活相談員同士の繋がりも強化しておく必要がある。

新規入居者の内訳を確認すると、自宅からの入居が最も多く、居宅介護支援事業所の介護支援専門員と連携し、情報の共有化に努めた。その甲斐あって、自宅から入居された方が混乱することなく生活を送れることができた。

家族会や地域との連携強化を行い、ボランティアの受け入れ人数も、昨年度と同様の実績を残すことができた。家族会との連携も年々強化することで、大きなトラブルなく運営することができた。

介護支援専門員所感

平成 25 年度と比較すると申込者が増えた。他の事業所が多数開設する中で、当事業所の申込者数が増えたことは、ビアンカの名前が地域に広がってきた証拠である。介護教室や土岐川河川敷の管理等、地域貢献事業の成果が上がってきたと実感している。

複数の事業所の申込や、緊急に備えての申込が増えたため、入居案内をしても断られる事例が増えてきた。入居申込時に、入居の希望理由等必要な情報を確認し、緊急性の高い方を早期に案内したい。

ケアワーカー所感

体の大きな男性の入居者が増え、移動等で介護の手間が増えている。無理な移乗介助を行うことにより腰痛を発症し、それが理由での欠勤や早退も増えた。再度、北欧式トランスファー研修を行い、介護者に無理のない移動、移乗方法の習得に努める必要がある。

職員のフロー固定を行った結果、料理クラブや外出等、新しい行事を計画することができ、個別ケアの充実に繋がっている。しかし、転倒やベッドからの転落事故は続いている。

内部研修は予定通り行い、サービスの質の向上に努めることができた。

看護職員所感

入居者のインフルエンザ感染症の発生がなかった。平成 27 年度もインフルエンザやノロウイルスに感染することがないように全職員に感染予防を働きかけていく。

利用者の高齢化に伴い病状も重傷化しやすい状況となっている。配置医師の考え方と家族の思いの違いを調整することに苦労した。看取りを希望する方や治療を希望する方それぞれの希望に沿うよう、利用者を中心に利用者が一番安楽に過ごせるよう配慮していきたい。

経管栄養増設者が増加しているため業務が煩雑になっている。看護職員同士のさらなる連携が必要である。

ケアハウスと特養の両方の利用者をみることに大分慣れてきた。事故や急変時の対応についても両施設とも的確に対応することができた。

管理栄養士所感

米飯を摂取できる方が少なくなり、軟飯・全粥が増えている。同じく副食も普通食を摂取できず、細刻み・なめらか食へと変更せざるを得ない方が多かった。入院も多く、退院した時には体重が落ち、褥瘡（床ずれ）ができていたり、食形態がミキサーになった方も多かった。最短の治療のみ行い退院させる急性期病院の弊害を目の当たりにした 1 年だった。

2. 短期入所生活介護

①月別実利用者数

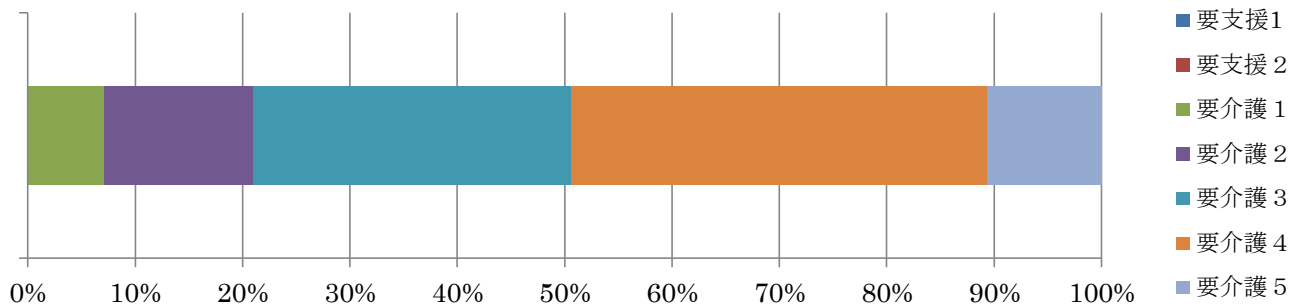
(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1													0
要支援2						1							1
要介護1	5	3	4	4	5	6	6	6	4	4	4	4	55
要介護2	9	10	11	9	13	11	7	6	7	6	7	8	104
要介護3	17	16	14	12	16	15	15	18	12	13	11	13	172
要介護4	13	12	12	14	13	10	12	9	14	12	10	13	144
要介護5	10	7	11	11	8	10	11	10	7	7	8	8	108
計	54	48	52	50	55	53	51	49	44	42	40	46	584

②月別延べ利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1													0
要支援2						2							2
要介護1	33	25	29	29	33	43	49	48	42	41	46	39	457
要介護2	74	78	78	93	86	91	56	48	43	65	89	92	893
要介護3	188	188	190	145	180	183	181	202	128	126	107	106	1,924
要介護4	162	175	218	239	244	212	212	216	248	233	147	195	2,501
要介護5	62	40	80	60	53	61	57	48	38	30	80	81	690
計	519	506	595	566	596	592	555	562	499	495	469	513	6,467



平成25年度延べ利用者数 6,615人 (年度比-148人)

生活相談員所感

平成25年度と実績を比較すると、年間延べ人数、実利用者数、共に低下した。3月に体調不良者が多数発生し、キャンセルが出たため、その月の実績が大きく低下した。

要介護度別の利用者数を比較すると、要介護3の延べ利用者数が増えている。在宅では困難事例といわれ、受け入れ先が少ない方達であるため、環境整備や研修を行い受け入れを増やしていきたい。

地域のケアマネジャーと連携を図るために、居宅介護支援事業所を訪問し、聞き取り調査等を実施した。その結果、連携は取れ、苦情等なく円滑な関係を築くことができた。

3. 通所介護（デイサービス）

①月別実利用者数

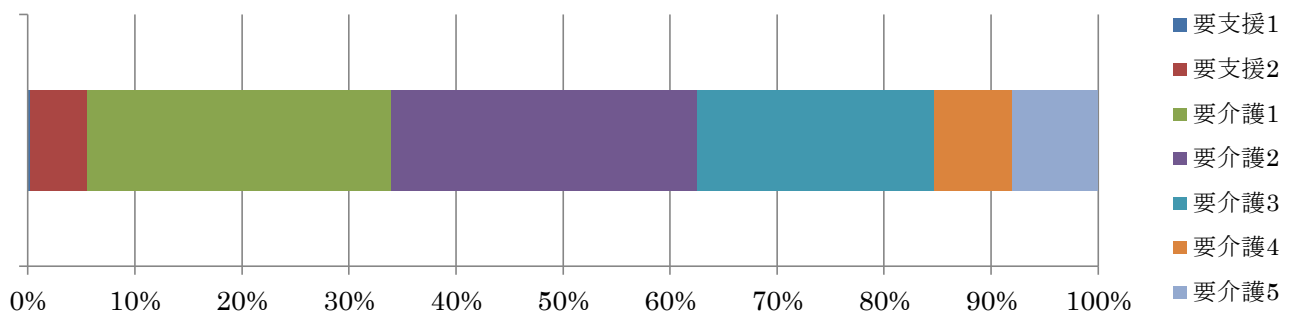
(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	6	0.5
要支援2	5	5	5	5	5	6	6	4	3	4	4	4	56	4.7
計	5	5	5	5	5	6	6	4	3	5	6	7	62	5.2
要介護1	25	26	25	25	25	23	26	22	22	15	16	16	266	22.2
要介護2	21	23	23	24	24	21	21	23	23	22	21	23	269	22.4
要介護3	17	16	16	15	14	16	14	15	15	16	18	17	189	15.8
要介護4	10	8	6	6	6	5	6	7	6	7	6	7	80	6.7
要介護5	7	6	5	7	7	7	7	8	8	8	9	10	89	7.4
計	80	79	75	77	76	72	74	75	74	68	70	73	893	74.4
予防・介護 合計	85	84	80	82	81	78	80	79	77	73	76	80	955	79.6

②月別延べ利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8	11	21	1.8
要支援2	38	43	34	39	40	48	43	31	21	29	32	34	432	36.0
計	38	43	34	39	40	48	43	31	21	31	40	45	453	37.8
要介護1	235	232	218	237	206	212	205	185	189	126	134	140	2,319	193.3
要介護2	178	192	173	188	206	176	206	209	216	187	183	226	2,340	195.0
要介護3	166	162	153	150	138	162	141	134	163	155	142	144	1,810	150.8
要介護4	63	60	50	54	42	41	36	55	52	45	43	51	592	49.3
要介護5	45	42	39	58	52	55	51	55	60	56	66	79	658	54.8
計	687	688	633	687	644	646	639	638	680	569	568	640	7,719	643.3
予防・介護 合計	725	731	667	726	684	694	682	669	701	600	608	685	8,172	681.0



平成25年度延べ利用者数 8,640人（年度比－468人）

③通所介護営業日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
営業日数	26	27	25	27	27	26	27	25	27	24	24	26	311	25.92
月間総利用者数	725	731	667	726	684	694	682	669	701	600	608	685	8,172	681
平均利用者数	27.88	27.07	26.68	26.89	25.33	26.69	25.25	26.76	25.96	25	25	26.35		26.3
稼働率	75	72	71	77	77	75	79	76	71	68	65	64		72.5

平成 25 年度稼働率 80.9% (年度比-8.4%)

生活相談員所感

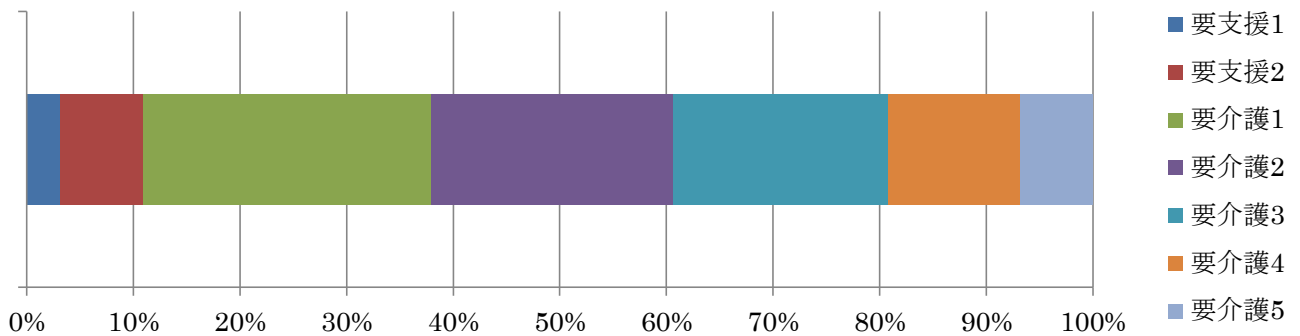
平成 26 年度の実績は、年間延べ 8,172 名、1 日平均 26.3 名、新規利用者は 34 名であった。実利用者、延べ利用者共に昨年度から減少している。また体調不良や状態悪化による利用停止、もしくは長期間利用中止者も年々増え続けている。しかし新規の定着率は 9 割以上であり、利用者家族からの紹介等もあり安定している。

4. 居宅介護支援事業所

①月別実利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	39
要支援2	9	8	8	8	8	8	8	7	8	8	8	8	96
要介護1	30	27	28	28	28	28	33	29	28	25	27	24	335
要介護2	20	21	21	21	22	22	21	25	26	25	28	29	281
要介護3	20	25	22	24	19	21	23	21	20	16	21	18	250
要介護4	13	17	14	12	11	15	14	11	13	12	11	11	154
要介護5	7	6	8	8	8	6	6	6	5	5	10	9	84
計	102	107	104	104	99	103	108	102	103	95	109	103	1,239



平成 25 年度実利用者数 1,260 人 (年度比-21 人)

②認定調査件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
7	9	9	10	8	9	7	9	6	10	9	9	102

介護支援専門員所感

平成 25 年度と実績を比較すると、月平均で約 2 名の減少となった。新規利用者獲得の指標となる初回加算の取得に関しては、平成 25 年度が 24 件、平成 26 年度が 39 件と新規利用者獲得に関しては増加となった。新規獲得が増加したのに実利用者数が減った原因としては、施設が増加し定員が増え、入居がしやすくなったことと、自社で支援事業所を立ち上げ安定的に利用者を獲得しようとする動きが見られたことによる。

市内の介護資源も大変充実し、利用者としては色々と選べる面がある反面、利用者の獲得は以前と比べて難しくなっている。支援事業所はビアンカでも他の事業所のサービスを利用しても良いのかという相談も増えており、選ばれるビアンカになれるよう、法人内サービス事業所をより良く宣伝できるよう、より良い事業所になってもらうよう情報交換していく考えである。

5. 訪問介護（ヘルパーステーション）

①月別実利用者数

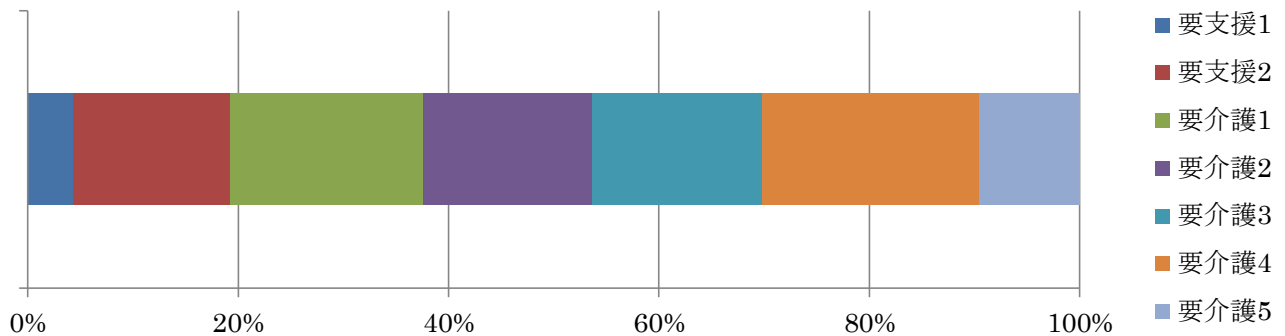
（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	3	4	46
要支援2	7	8	8	8	8	8	7	7	8	7	7	6	89
要介護1	9	7	8	8	9	9	8	6	4	6	7	8	89
要介護2	4	7	5	5	4	4	4	5	6	8	8	8	68
要介護3	6	6	6	7	4	4	4	5	4	4	4	5	59
要介護4	5	3	3	4	4	4	4	3	3	3	3	2	41
要介護5	1	2	2	2	3	3	3	3	2	4	5	5	35
計	36	37	36	38	36	35	34	33	31	36	37	38	427

②月別延べ利用者数

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	24	26	25	26	26	18	20	21	16	18	14	21	255
要支援2	72	82	78	78	78	78	80	67	77	66	68	55	879
要介護1	120	105	93	94	107	114	120	69	54	53	68	82	1,079
要介護2	60	72	72	72	65	70	54	90	92	95	94	109	945
要介護3	95	92	108	91	76	82	78	79	82	83	40	42	948
要介護4	138	67	88	121	118	127	105	95	97	92	79	87	1,214
要介護5	26	30	30	31	51	52	54	39	32	50	87	80	562
計	535	474	494	513	521	541	511	460	450	457	450	476	5,882



平成25年度延べ利用者数 5,816人（年度比+66人）

③月述べ利用時間

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	18:00	19:30	18:45	19:30	19:30	13:30	15:00	15:45	12:00	13:30	10:30	15:45	191:15
要支援2	56:15	63:45	60:30	60:45	60:45	60:30	62:30	52:15	60:00	51:30	53:00	43:15	685:00
要介護1	128:25	122:55	106:40	84:00	104:35	107:40	110:40	61:00	47:45	48:30	62:05	71:35	1055:50
要介護2	72:00	85:35	91:30	94:05	84:35	91:15	67:35	112:10	103:40	110:50	106:10	122:15	1141:40
要介護3	90:30	92:10	99:10	77:25	61:05	62:35	61:20	59:20	61:55	61:45	42:12	42:05	811:32
要介護4	94:30	70:10	65:20	96:50	94:50	99:22	86:00	81:22	81:10	76:40	67:50	74:00	988:04
要介護5	13:00	17:00	17:00	18:00	37:50	39:20	40:10	26:00	18:30	35:30	54:00	46:30	362:50
計	472:40	471:05	458:55	450:35	463:10	474:12	443:15	407:52	385:00	398:15	395:17	415:25	5236:11

④研修参加状況

日付	内容
平成 26 年 4 月 16 日	うつ病について
平成 26 年 5 月 21 日	技術研修
平成 26 年 6 月 21 日	成年後見人制度について
平成 26 年 7 月 16 日	身体にかかる圧力の影響と対策
平成 26 年 8 月 20 日	熱中症について
平成 26 年 9 月 17 日	心肺蘇生法の流れについて
平成 26 年 10 月 17 日	要支援者等の多様な生活支援について
平成 26 年 11 月 19 日	火の元への注意
平成 26 年 12 月 17 日	個人情報について
平成 27 年 1 月 21 日	介護保険制度改正について
平成 27 年 2 月 18 日	後見人制度について
平成 27 年 3 月 18 日	詐欺被害にあわないためのポイント

サービス提供責任者所感

終末期は病院で迎えると言う考え方が主流であったが、在宅医療関係が安定充実して来たため、終末期の訪問介護が増えてきた。医療面での知識向上、他職種との連携が必要で重要になってきた。

ヘルパーを志望する人が年々減り、職員も高齢化している。介護職員初任者研修の料金が高く、研修時間も長いため、資格を取得する人が減少していることが考えられる。現在いるヘルパーの資質向上と共に、ヘルパーの確保に苦労した1年であった。

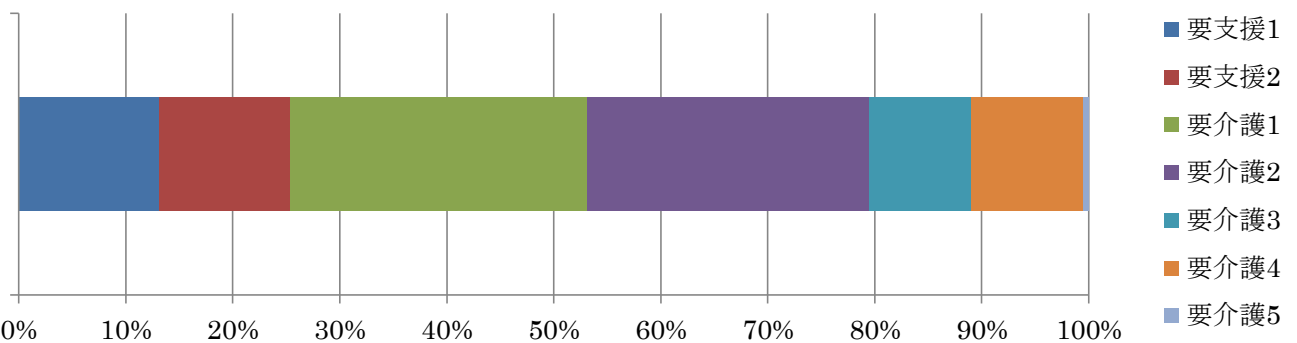
6. 軽費老人ホーム（ケアハウス）

①月別実利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自立													0
要支援1	8	7	7	6	6	6	6	6	6	6	7	8	79
要支援2	4	5	6	6	7	7	6	6	6	7	7	6	73
要介護1	12	12	12	14	14	14	15	15	16	15	14	14	167
要介護2	13	14	13	13	13	13	13	14	14	14	12	12	158
要介護3	6	5	5	5	5	5	5	3	4	4	5	5	57
要介護4	7	5	6	6	5	5	5	6	4	4	5	5	63
要介護5	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	

②月別延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	240	217	210	186	186	180	186	180	186	186	196	224	2,377
要支援2	120	134	158	186	207	210	186	180	186	217	196	186	2,166
要介護1	360	372	360	372	408	392	465	450	480	465	387	434	4,945
要介護2	390	412	390	403	396	385	403	420	434	434	312	372	4,751
要介護3	180	155	150	155	155	150	155	145	124	124	140	155	1,788
要介護4	210	135	180	155	130	150	155	94	109	124	140	141	1,723
要介護5	0	62	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	74
計	1,500	1,487	1,451	1,466	1,482	1,467	1,550	1,469	1,519	1,550	1,371	1,512	17,824



平成25年度延べ利用者数 43人（年度比+19人）

③年齢分布

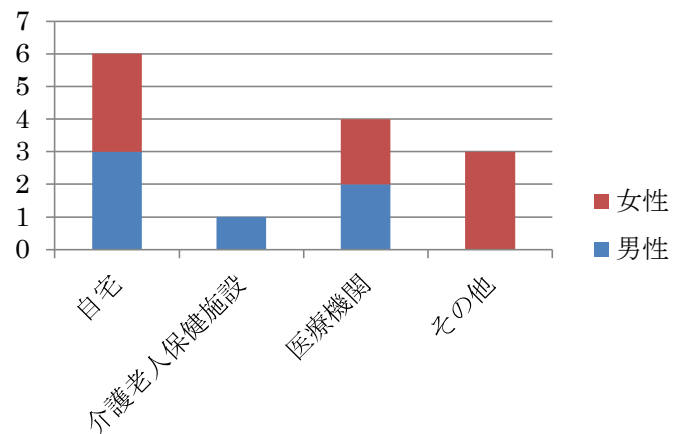
性別	～59	60～	65～	70～	75～	80～	85～	90～	95～	計	平均	最高	最低
		64	69	74	79	84	89	94	99				
男性	1				1	5	5	2	0	14	77	93	55
女性					2	6	13	13	2	36	88	99	77
合計	1	0	0	0	3	11	18	15	2	50			

④入退所の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居者	男						1		2	1	1		1	6
	女	1	2	1	1	2						1		8
	計	1	2	1	1	2	1		2	1	1	1	1	14
退居者	男					1		1		1	1	1		5
	女	1	2	1	1	1	1		1				1	9
	計	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	14
月始在籍者		50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	

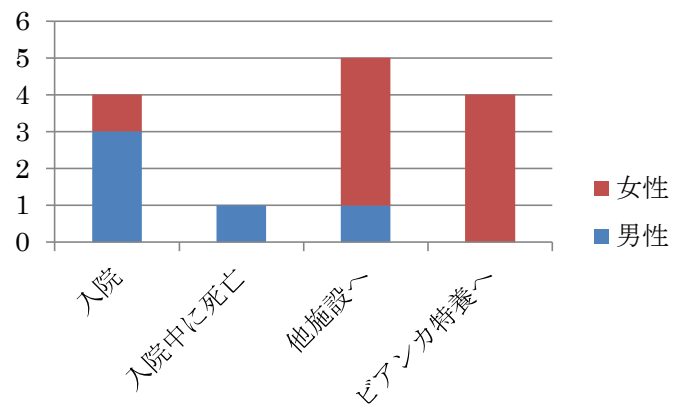
⑤入所経路 (単位：人)

入所前	男	女	計
自宅	3	3	6
介護老人保健施設	1		1
医療機関	2	2	4
その他		3	3
計	6	8	14



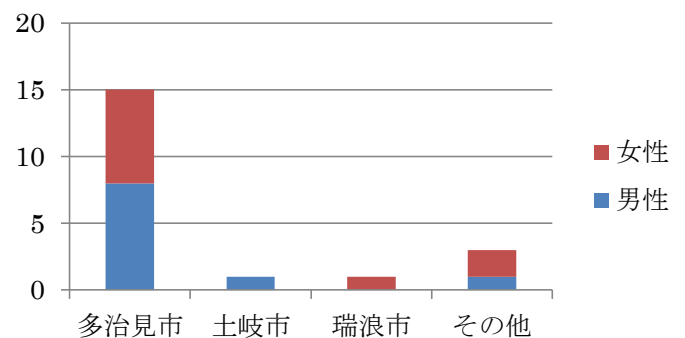
⑥退所者 (単位：人)

退所理由	男	女	計
入院	3	1	4
入院中に死亡	1		1
他施設へ	1	4	5
ビアンカ特養へ		4	4
計	5	9	14



⑦申込者 (平成26年度中) (単位：人)

保険者	男	女	計
多治見市	8	7	15
土岐市	1		1
瑞浪市		1	1
その他	1	2	3
計	10	10	20



⑧在所期間

(単位:人)

6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年	3年～4年	5年～6年	7年～8年	合計
5	8	18	10	4	5	50

平均在所期間 2年10か月.

⑨医療機関の往診

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	51	49	43	42	45	41	45	43	46	48	46	49	548
その他	25	18	18	21	21	22	18	18	23	19	20	17	240
合計	76	67	61	63	66	63	63	61	69	67	66	66	788

⑩医療機関への通院数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
救急外来			1	1							1	2	5
内科	11	6	9	1	3	6	1	6	2	6	11	13	75
泌尿器科	2	1	1	1	2		2	3	2		1	1	16
整形外科	5	8		2		1				1	1	1	19
眼科	1	8	8	2	2	4		1	1	3		4	34
脳外科		1											1
歯科	5	12	5	1	2	3	2	4			1		35
皮膚	1			1		2	1	1					6
合計	25	36	24	9	9	16	6	15	5	10	15	21	191

⑪入院者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	3	2	2	2	2	2		1	1	1	1	4	21
整形外科				1									1
その他											2		2
合計	3	2	2	3	2	2	0	1	1	1	3	4	24

⑫死亡者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院死亡					2	1	1						4

生活相談員所感

入居者の変化や日々の状態観察に注意を払いながら業務を行った。入居者の高齢化や、身体機能の低下が進み、転倒事故や、緊急対応が必要な事例も相次いだ。しかし、現場職員の鋭い観察力で病気の早期発見、治療を行う事で、早期に退院され再びビアンカでの生活を送る事ができた。レクリエーションでは、外出レクリエーションを引き続き行い、山岡おばあちゃん市は好評を得た。ボランティア（金城学院大学文学部音楽芸術学科学生、日本ハーモニカ芸術協会、おやじバンド）の慰問も充実していた。今後は、介護に関する医学や腰痛

予防を考えた介護技術の勉強会を開いたり、職員同士の情報交換ができる環境を提供したいと思う。

計画作成担当者所感

開所から 9 年目となり、入居者の高齢化が進んだ。それに伴って緊急対応が必要な事例もあった。身体機能の低下に伴い、介助の必要が多くなる事例もあった。入院中に退所となる方が 4 名、特別養護老人ホームビアンカへ移動される方が 4 名を数えた。

基礎的な疾患において注意を要する入居者が多く、様子観察を徹底し早期に看護職員へ報告することが出来た。

認知症の周辺症状が現れている入居者も複数あり、落ち着いて過ごせるよう対応を心掛けた。また周りの入居者にも影響を及ぼさないよう注意した。

ケアワーカー所感

入居者の様子観察に努めることによって、早期に看護職員へ報告をすることが出来た。職員間での情報の共有によって、共通のケアができるよう努めた。

看護職員所感

比較的、自立度が高く、自身の身体状態や変化を訴える入居者が多く、急変前の前駆症状で病院受診ができた。異常の早期発見、治療に繋がるケアワーカーの観察力にも助けられた。結果、入院前の ADL まで快復して帰設する事ができている。ともに勉強できた 1 年だった。